

セッション情報

一般シンポジウム

[S36] 物理系薬学部会シンポジウム：物理系薬学の羅針盤

2024年3月30日(土) 13:15 ~ 15:15 [301会場] 会議センター 301 (3F)

オーガナイザー：石濱 泰（京大院薬）、米持 悦生（星薬大）

物理系薬学は、薬学のみならず、物理化学、分析化学、放射化学などを中心とした幅広い学問領域をカバーしています。本シンポジウムでは、長年にわたり物理系薬学分野をリードしてこられた経験豊かな4名の先生方にご自身の研究を中心に、各分野の歴史、現状、そして期待される将来についてお話しいただきます。各分野における個別の深い議論に加え、物理系薬学という広い視野からの議論が、今後10年、20年の本領域のさらなる発展の羅針盤となることを期待しています。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

オーガナイザー挨拶：石濱 泰（京大院薬）（13:15 ~ 13:30）

13:30 ~ 13:55

[S36-1] 構造生物薬学：分子構造から生命現象のメカニズムを明らかにする
物理系薬学

- ATPエンジンが駆動する多剤膜輸送ポンプの物理化学 -

○加藤 博章^{1,2} (1. 京大院薬、2. 理研RSC)

13:55 ~ 14:20

[S36-2] ナノデバイスを用いたタンパク質の1分子機能解析とマイクロデバイスを用いた1細胞からの有用遺伝子スクリーニング

○船津 高志¹ (1. 東大院薬)

14:20 ~ 14:45

[S36-3] ナノバイオデバイスと量子生命科学が拓く未来医療・創薬

○馬場 嘉信^{1,2} (1. 名大院工、2. QST量子生命研)

14:45 ~ 15:10

[S36-4] 神経細胞膜を介したアミロイドβタンパク質の凝集・毒性発現機構

○松崎 勝巳¹ (1. 京大院薬)

総括：米持 悦生（星薬大）（15:10 ~ 15:15）